



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社フーバーブレイン 上場取引所 東
 コード番号 3927 URL <https://www.fuva-brain.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 輿水 英行
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 植村 浩之 TEL 03-5210-3061
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 4,124	% 33.5	百万円 197	% 83.7	百万円 201	% 126.8	百万円 333	% -
2025年3月期第3四半期	3,090	41.3	107	-	88	-	20	-

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,024百万円 (2,175.4%) 2025年3月期第3四半期 45百万円 (-%)

	調整後売上高		調整後営業利益		調整後経常利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 4,540	% 46.9	百万円 652	% 235.5	百万円 656	% 273.6
2025年3月期第3四半期	3,090	41.3	194	-	175	-

- (注) 1. 調整後売上高、調整後営業利益及び調整後経常利益は、当社グループの主要事業及び成長戦略(オーガニックグロース、M&Aグロース及び投資グロース)を前提とし、当社グループの事業実態に則した経営成績を表す指標として、より適切となる調整を行っております。
2. 調整後売上高は、すべての主要事業の営業収入を含むように調整した包括的な売上高。投資グロース戦略のもと、投資子会社フーバー・インベストメントのすべての有価証券売却収入を、営業投資有価証券売上高として、売上高に含めております。
3. 調整後営業利益は、経常的な営業キャッシュ・フローの創出能力を表すように調整した利益。M&Aグロース戦略のもと、調整後売上高に基づく営業利益に、M&Aにより生じた無形資産の償却費用及び取引費用、株式報酬費用、その他一時的費用等を加えて算出しており、当社グループが最も重視するKPIとなります。
4. 調整後経常利益は、調整後営業利益に基づく経常利益であり、更なる調整は加えておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 62.41	円 銭 61.91
2025年3月期第3四半期	3.96	3.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 7,396	百万円 2,263	% 29.6
2025年3月期	5,604	1,729	27.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 2,192百万円 2025年3月期 1,527百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2026年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	5,600	28.1	255	36.1	250	50.6	400	74.84

	調整後売上高		調整後営業利益		調整後経常利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	6,000	37.2	700	140.7	695	158.0

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社フーバー・クロステクノロジーズ

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更の注記）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	5,604,200株	2025年3月期	5,604,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	259,807株	2025年3月期	259,807株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	5,344,393株	2025年3月期 3Q	5,253,232株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(第3四半期決算説明会について)

2026年3月期第3四半期決算説明会について、機関投資家・アナリスト向けに2026年2月18日16時00分からオンラインにて開催いたします。説明会参加ご希望の方は、所属機関名・所属部署名・役職・お名前を記載のうえ、下記メールアドレスまでご連絡ください。

株式会社フーバーブレインIR担当：ir@fuva-brain.co.jp

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象の注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループ（当社及び連結子会社）は、中期経営計画を策定し、今後実現すべきビジョンを「日本発のAIガーディアンを目指す」として、2030年3月期における業績目標を調整後売上高150億円、調整後営業利益15億円としました。当該計画においては、株主還元計画も明確にし、当期から配当を開始し、2030年3月期において配当性向30%以上を目指してまいります。



当該計画の着実な実現に向け、今後もオーガニックグロースと積極的なM&A・戦略提携によるM&Aグロース、さらに投資グロースを成長ファクターにグループ拡大を目指してまいります。

また、当社は、2026年2月6日付で、東京証券取引所スタンダード市場へ市場区分変更いたしました。スタンダード市場への市場区分変更は、当社の今後の取り組みを着実に推進し、企業価値の持続的な向上を図るうえで適した環境であると認識しております。当社は、同市場に求められる水準に応えるべく、より一層の経営基盤の強化に努めてまいります。

当第3四半期連結累計期間においては、ITツール事業における成長事業である「セキュリティ&ネットワークaaS製品」及び「働き方改革製品（SaaS型）」が、前年同期比52.7%増、22.1%増とそれぞれ拡大し、基盤事業である「セキュリティ製品」は高い利益貢献を継続し、着実なオーガニックグロースを実現しております。

また、2025年9月30日付で連結子会社とした株式会社フーバー・クロステクノロジーズ（以下、「FXT」という。）では、継続成長する「セキュリティ&ネットワークaaS製品」Cato SASE Cloudの販売を推進しております。

ITサービス事業においては、2024年9月及び10月に連結子会社化した株式会社Asemb1e（株式会社ARPEGGIOから社名変更、以下、「Asemb1e」という。）及びイチアール株式会社（以下、「イチアール」という。）が事業成長に貢献し、M&Aグロースを拡大しております。両社については、2025年6月30日付でイチアール、同年12月19日付でAsemb1eの株式をそれぞれ追加取得したことで、完全子会社化いたしました。

採用支援・人材紹介を提供する連結子会社の株式会社アド・トップ（以下、「アド・トップ」という。）において、拡大を続ける人材採用需要を背景に、売上高拡大を実現しました。アド・トップについても、2025年7月25日付で株式を追加取得し、完全子会社化いたしました。

新たに報告セグメントとして記載する方法に変更した投資事業については、投資子会社フーバー・インベストメント株式会社において、2025年4月22日付で、投資先であるデジタルグリッド株式会社が東京証券取引所グロース市場に上場し、持分の一部を売出したことで、売却価額415,840千円、投資有価証券売却益385,840千円を特別利益として計上し、投資グロースによるグループ成長を実現しました。

2026年2月13日付で、人材紹介・RPO（採用代行）サービスを展開する株式会社Youth Planetの株式を取得し、当社の連結子会社とすることといたしました。人材紹介及びRPO領域において確立された実務ノウハウと顧客基盤を有する同社が当社グループに参画することで、アド・トップの採用広告サービスを組み合わせ、「広告+紹介+RPO」の一気通貫型サービスの展開が可能となり、両社の既存顧客に対するアップセル・クロスセルが可能となり、今後の顧客単価及びLTVの向上が期待でき、さらなるITサービス事業の事業拡大が見込まれます。

以上の取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,124,985千円（前年同期比33.5%増）となりました。売上構成の変化による粗利率の低下はあるものの、粗利額の拡大により、営業利益は197,513千円（前年同期比83.7%増）となりました。経常利益については、助成金収入15,541千円を計上する一方、支払利息5,805千円及び市場変更関連費用5,050千円を計上したことで、201,166千円（前年同期比126.8%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として投資有価証券売却益385,840千円を計上し、法人税等合計227,806千円、非支配株主に帰属する四半期純利益28,515千円により、親会社株主に帰属する四半期純利益333,552千円（前年同期比1,500.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(ITツール事業)

当第3四半期連結累計期間の売上高は2,306,971千円（前年同期比33.1%増）、セグメント利益は214,799千円（前年同期比26.3%増）となりました。

(ITサービス事業)

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,818,014千円（前年同期比34.0%増）、セグメント利益は222,759千円（前年同期比17.1%増）となりました。

(投資事業)

当第3四半期連結累計期間の売上高は-千円（セグメント間の内部売上高又は振替高5,700千円）、セグメント損失は2,415千円（前年同期はセグメント利益546千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、次のとおりであります。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計の額は、前連結会計年度末に比べ1,791,912千円増加し、7,396,129千円となりました。これは主に、現金及び預金が211,457千円、前払費用が389,819千円及び投資有価証券が991,118千円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計の額は、前連結会計年度末に比べ1,258,139千円増加し、5,132,733千円となりました。これは主に、短期借入金が99,999千円、前受金が519,222千円、繰延税金負債が362,434千円、長期前受金が244,897千円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計の額は、前連結会計年度末に比べ533,773千円増加し、2,263,396千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益333,552千円を計上し、その他有価証券評価差額金が661,125千円増加した一方、イチアール、アド・トップ及びA s e m b l e の完全子会社化並びにF X Tの連結子会社化等により、資本剰余金が331,287千円及び非支配株主持分が146,817千円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年5月15日付公表「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,522,935	1,734,393
受取手形及び売掛金	475,322	463,719
営業投資有価証券	142,917	192,917
仕掛品	-	4,867
原材料及び貯蔵品	108,739	67,737
短期貸付金	50,000	-
前払費用	1,012,916	1,402,736
その他	14,284	23,119
貸倒引当金	△866	△872
流動資産合計	3,326,249	3,888,619
固定資産		
有形固定資産	24,042	143,719
無形固定資産		
のれん	540,160	504,008
その他	4,260	1,385
無形固定資産合計	544,421	505,393
投資その他の資産		
投資有価証券	135,802	1,126,920
長期前払費用	1,315,576	1,500,095
その他	258,125	231,381
投資その他の資産合計	1,709,503	2,858,396
固定資産合計	2,277,967	3,507,510
資産合計	5,604,216	7,396,129

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	208,751	191,172
短期借入金	297	100,296
1年内返済予定の長期借入金	87,996	89,496
前受金	1,210,863	1,730,086
未払法人税等	75,908	174,845
引当金	31,974	28,290
その他	215,068	281,544
流動負債合計	1,830,860	2,595,731
固定負債		
長期借入金	275,006	209,009
繰延税金負債	3,128	365,563
退職給付に係る負債	28,876	32,456
資産除去債務	20,495	26,488
長期前受金	1,632,682	1,877,579
その他	83,544	25,905
固定負債合計	2,043,733	2,537,002
負債合計	3,874,593	5,132,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	796,881	796,881
資本剰余金	649,586	318,299
利益剰余金	148,664	482,217
自己株式	△72,281	△72,281
株主資本合計	1,522,850	1,525,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,469	666,594
繰延ヘッジ損益	△1,030	448
その他の包括利益累計額合計	4,438	667,043
新株予約権	10,511	26,231
非支配株主持分	191,822	45,005
純資産合計	1,729,623	2,263,396
負債純資産合計	5,604,216	7,396,129

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	3,090,122	4,124,985
売上原価	2,135,371	2,968,044
売上総利益	954,750	1,156,941
販売費及び一般管理費	847,227	959,427
営業利益	107,523	197,513
営業外収益		
受取利息	1,211	2,240
助成金収入	18,147	15,541
その他	1,954	545
営業外収益合計	21,313	18,327
営業外費用		
支払利息	1,514	5,805
為替差損	10,730	925
市場変更関連費用	–	5,050
持分法による投資損失	23,468	2,814
その他	4,438	79
営業外費用合計	40,151	14,675
経常利益	88,685	201,166
特別利益		
段階取得に係る差益	–	2,730
投資有価証券売却益	–	385,840
新株予約権戻入益	–	138
特別利益合計	–	388,708
税金等調整前四半期純利益	88,685	589,874
法人税、住民税及び事業税	44,759	216,860
法人税等調整額	△2,028	10,946
法人税等合計	42,731	227,806
四半期純利益	45,954	362,068
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,118	28,515
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,835	333,552

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	45,954	362,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	293	661,131
繰延ヘッジ損益	△1,214	1,479
その他の包括利益合計	△920	662,610
四半期包括利益	45,033	1,024,678
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,980	996,157
非支配株主に係る四半期包括利益	25,053	28,521

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があつた場合の注記)

当社は、2025年6月30日付で連結子会社であるイチアール株式会社、同年7月25日付で連結子会社である株式会社アド・トップ、同年12月19日付で連結子会社である株式会社A s e m b l e の株式を追加取得し、それぞれ完全子会社といたしました。この結果、資本剰余金が331,287千円減少し、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金は318,299千円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更の注記)

1. 連結の範囲の重要な変更

当第3四半期連結累計期間において、持分法適用関連会社であった株式会社フーバー・クロステクノロジーズの株式を追加取得し、子会社化したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

2. 持分法適用の範囲の重要な変更

当第3四半期連結累計期間において、持分法適用関連会社であった株式会社フーバー・クロステクノロジーズの株式を追加取得し、連結の範囲に含めたため、同社を持分法適用の範囲から除外しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	10,290千円	19,480千円
のれんの償却額	30,697	46,661

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ITツール事業	ITサービス 事業	投資事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,733,460	1,356,661	-	3,090,122	3,090,122	-	3,090,122
セグメント間の内部売上高又は振替高	148	16,802	2,700	19,651	19,651	△19,651	-
計	1,733,609	1,373,463	2,700	3,109,773	3,109,773	△19,651	3,090,122
セグメント利益	170,101	190,267	546	360,914	360,914	△253,391	107,523

(注) 1. セグメント利益の調整額△253,391千円には、のれんの償却額△12,788千円、一時的に発生する子会社取得関連費用△53,187千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△187,414千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間において、イチアール株式会社を連結の範囲に含めたことに伴い、ITサービス事業の資産が、前連結会計年度末日に比べ581,390千円増加しております。なお、当第3四半期連結会計期間末においては、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、イチアール株式会社を連結の範囲に含めたことに伴い、ITサービス事業の資産として、のれんが246,668千円増加しております。なお、当第3四半期連結会計期間末においては、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ITツール事業	ITサービス 事業	投資事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,306,971	1,818,014	-	4,124,985	4,124,985	-	4,124,985
セグメント間の内部売上高又は振替高	87	28,729	5,700	34,517	34,517	△34,517	-
計	2,307,059	1,846,743	5,700	4,159,503	4,159,503	△34,517	4,124,985
セグメント利益又はセグメント損失(△)	214,799	222,759	△2,415	435,143	435,143	△237,629	197,513

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△237,629千円には、のれんの償却額△12,788千円、一時的に発生する子会社取得関連費用△15,320千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△209,521千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分の変更)

第1四半期連結会計期間より、投資先であるデジタルグリッド株式会社が東京証券取引所グロース市場に上場したことにより、資産の量的重要性が増したため、「その他」に含まれていた「投資事業」を報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

中間連結会計期間において、株式会社フーバー・クロステクノロジーズを連結の範囲に含めたことに伴い、ITツール事業の資産として、のれんが10,509千円増加しております。なお、当第3四半期連結会計期間末においては、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

【調整後のセグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

調整後の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額	調整後連結 売上高及び 営業利益
	ITツール 事業	ITサービス 事業	投資事業	計			
調整後売上高							
外部顧客への売上高	2,306,971	1,818,014	415,840	4,540,825	4,540,825	-	4,540,825
セグメント間の 内部売上高又は振替高	87	28,729	5,700	34,517	34,517	△34,517	-
計	2,307,059	1,846,743	421,540	4,575,343	4,575,343	△34,517	4,540,825
調整後セグメント利益	215,237	258,914	383,424	857,576	857,576	△205,066	652,510

- (注) 1. 調整後売上高、調整後セグメント利益は、当社グループの主要事業及び成長戦略（オーガニックグロース、M&Aグロース及び投資グロース）を前提とし、当社グループの事業実態に則した経営成績を表す指標として、より適切となる調整を行っております。
2. 調整後売上高は、すべての主要事業の営業収入を含むように調整した包括的な売上高。投資グロース戦略のもと、投資子会社フーバー・インベストメントのすべての有価証券売却収入を、営業投資有価証券売上高として、売上高に含めております。
3. 調整後セグメント（営業）利益は、経常的な営業キャッシュ・フローの創出能力を表すように調整した利益。M&Aグロース戦略のもと、調整後売上高に基づく営業利益に、M&Aにより生じた無形資産の償却費用及び取引費用、株式報酬費用、その他一時的費用等を加えて算出しており、当社グループが最も重視するKPIとなります。

(重要な後発事象の注記)

(子会社取得)

当社は、2026年2月13日の取締役会決議及び同日付で締結した株式譲渡契約に基づき、株式会社Youth Planet（以下、「Youth Planet」という。）の株式（議決権所有割合51.0%分）を取得し、同社を連結子会社とすること（以下、「本子会社化」という。）といたしました。本子会社化は、同年2月20日付の完了を予定しております。

本子会社化の詳細は、2026年2月13日付公表「株式会社Youth Planetの株式の取得（連結子会社化）に関するお知らせ」をご参照ください。

1. 目的

当社グループのITサービス事業では、中期的な成長戦略として「IT人材領域を中心とした事業基盤の強化」を掲げており、人材確保力及び採用プロセス全体を内製・高度化することが、グループの持続的成長と企業価値向上に不可欠であると認識しております。

日本国内においては、IT人材の需給ギャップが中長期的に継続する見通しであり、IT人材を中心とした採用・人材サービス市場は、構造的な成長が見込まれる分野となります。一方で、グループの持続的成長を実現するためには、採用広告に加えて、人材紹介やRPO（採用代行）を含めた採用プロセス全体を設計・運用できる体制の確立による、継続的な人材獲得が不可欠であると認識しております。

Youth Planetは、人材紹介及びRPO領域において、戦略設計から実行までを一貫して担う高度な実務ノウハウを有し、特に累計ユーザー数37,000人超えの新卒学生面接練習サービス「Sokumee（ソクミー）」運営等から若年層、さらにIT人材領域における採用支援において高い実績を有しております。同社の知見・機能は、当社グループにとってまさに欠けていた重要なピースであると判断しております。「人的資本の価値創造」を掲げ、企業と個人の双方にとって最適なマッチングと成長機会を創出してきたYouth Planetの思想と実行力は、当社グループの方向性と極めて高い親和性を有すると判断し、本子会社化を決定いたしました。

2. 異動する子会社の名称、事業規模、事業内容

(1)	名 称	株式会社Youth Planet
(2)	所 在 地	東京都台東区上野6丁目1番11号平岡ビル703号
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 堀田 誠人
(4)	事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・中途人材紹介サービス ・新卒人材紹介サービス ・RPO（採用代行業務）サービス ・人材紹介会社向けコンサルティングサービス
(5)	資 本 金	5.5百万円
(6)	設 立 年 月 日	2014年7月31日
(7)	従 業 員 数	22名（2025年6月30日現在）
(8)	大 株 主 及 び 持 株 比 率 (議決権所有割合)	堀田 誠人 100.0%

3. 取得する株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0.0%)						
(2)	取 得 株 式 数	561,000株 (議決権の数：561,000個)						
(3)	取 得 価 額	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">普通株式</td> <td style="width: 50%;">204百万円</td> </tr> <tr> <td>アドバイザリー費用等（概算額）</td> <td>26百万円</td> </tr> <tr> <td>合計（概算額）</td> <td>230百万円</td> </tr> </table>	普通株式	204百万円	アドバイザリー費用等（概算額）	26百万円	合計（概算額）	230百万円
普通株式	204百万円							
アドバイザリー費用等（概算額）	26百万円							
合計（概算額）	230百万円							
(4)	異動後の所有株式数	561,000株 (議決権の数：561,000個) (議決権所有割合：51.0%)						